

自己評価 (共通項目)

和光市立広沢小学校

柱	No.	評価項目	評価				改善策として考えられること
			A	B	C	D	
学校の組織運営	1	学校は、学校教育目標達成に向けて 全教職員で組織的に取り組んでいる。	12	14			『ほうれんそうのおひたし』を全教職員がキーワードとして共通認識できている。
	2	学校は、安全・安心に配慮し危機管理体制を整えている。	16	10			
基礎学力の定着	3	児童生徒は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。	8	18			学力調査が実施されなかったため、学力の伸びについては客観的に比較できないが、算数では少人数指導と学力向上支援員が担任と連携しながら、全体指導と個別指導を効果的に行った。放課後の個別指導についても後期からは実施できた。
	4	学校は、学力向上を目指し、児童生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。	12	14			
	5	学校は、学習ルールを共通理解するなど、学習規律の確立が図られている。	4	18	4		
規律ある態度育成	6	児童生徒は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた規律ある態度を身につけている。	6	20			個々に課題のある児童はいるが、学校全体として、規律ある態度を身につけてられている。特に、チャイム着席とあいさつ、清掃は本校の良さとして次年度も継続させたい。
	7	学校は児童生徒の実態把握に基づき、規律ある指導の工夫・改善に努めている。	12	14			
健康・体力向上	8	児童生徒は、体育の授業や運動部活動、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。	10	14	2		教材の共有や学年体育の実施等、工夫して体育授業を実施していた。体育部が校庭のライン引きを毎日のように行ってくれているおかげで、多くの児童が進んで外遊びをしている。
	9	学校は、児童生徒の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。	10	14	2		
連携	10	学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学校運営や教育活動に生かしている。	8	16	2		次年度の地区社協新設に向けて、計画的に準備を進めることができた。自治会との連携を密に図りながら、学校運営や教育活動に生かしたい。

A：よく当てはまる B：ほぼ当てはまる C：あまり当てはまらない D：当てはまらない